

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	昭和57年		
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 適正な維持管理
事務事業名	07	漁業集落排水施設管理運営事業	
根拠法令・例規等	水質汚濁防止法・浄化槽法		
担当課(室)	下水道課		
職・氏名	参事・高井利広		
電話	0869-63-2330		
このシート作成に要した時間	4.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	日生町頭島、大多府地区で生活する市民及び不特定多数
目的(何のために)	漁業集落の生活環境の改善を図り、併せて公共用水域の水質保全の資する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	排水施設の処理機能を維持し、処理水の水質を良好に保ち、漁場の汚染防止に寄与する。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績				
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	漁業集落排水施設管理運営事業	頭島浄化センター維持管理業務	○	
		汚水処理施設に係る水質管理、汚泥管理、処理施設の適正な運転及び維持管理		
	大多府浄化センター維持管理業務	汚水処理施設に係る水質管理、汚泥管理、処理施設の適正な運転及び維持管理	○	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
放流水のBOD値	目標値(A)	10	10	10	10
	実績値(B)	7	7	3	到達目標値
	達成率(B/A)	70.00%	70.00%	30.00%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
浄化槽で、浄化槽が適正な維持管理により所期の処理機能が確保されているかを判定する指標である。生物化学的酸素要求量：水中の有機物が微生物の働きによって分解されるときに消費される酸素量。大きい値ほど汚れが甚だしいことを示す。					

Check

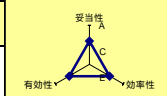
事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価<A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価<A~E> C

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
説明	老朽化した施設の改修等を図り効率的な維持管理を行う。					

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		28,552	22,250	19,777	
	必要人員(人件費)	千円	0.13人	1,279	0.09人	781
	事業費計		29,831	24,003	20,558	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金債	千円				
その他()						
一般財源			29,831	24,003	20,558	
受益者負担比率	%		-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	汚水処理量	説明	汚水を浄化し公共水域へ放流した水量			
	結果指標量	m	66,975	99,235	110,827	
	対前年比	%	-	148.2%	111.7%	
	活動コスト	円	29,830,513	24,003,827	20,558,302	
単位当たりコスト			445	242	185	

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
施設	施設の老朽化進行により修繕費等が増大してきているが、処理は概ね良好に行われており、引き続き処理機能を十分発揮できるよう計画的に効率的な改善等を行う必要がある。	評価区分<A~E> C



平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
		○				
取組目標	老朽化した施設の改修等の効率的な方法及び処理方式の変更を含めた施設更新の方法について、引き続き継続して検討する。					

Action